



第3回
定例会

議員の政治倫理基準などを定めた 岸和田市議会議員政治倫理条例を制定



上松町で建設の進む新消防本部庁舎

定例会の概要

平成21年第3回定例会では、20年度一般会計及び各特別会計をはじめ、下水道・下水道・病院の各事業会計の決算認定議案4件が提案され、認定しました。また、名誉市民の表彰など5件の人事案件に同意し、条例の改正、補正予算など12件の議案を可決しました。

議員からは、政治倫理条例や意見書を提案し、満場一致で可決しました。

一般質問では、8人の議員が市政全般にわたり見解をいただきました。

第3回定例会は、8月31日に開会し、まず監査結果や専決処分などの報告を受

功者の表彰について、それぞれ同意しました。また、岸和田市職員定数条例の一部改正など12議案が上程され、提案理由の説明後、それぞれ関係する常任委員会に審査を付託しました。

その後行われた一般質問では、8人の議員が市政全般について理事者の見解をいただきました。(2面・3面に掲載)

9月3日～7日の各常任委員会では、付託議案の審査などを行いました。

3日の文教民生常任委員会で、市立大芝保育所を民営化するための議案第69号に対し、反対討論「きしわだ行財政再生プランありきで保育の公的責任を後退させる民営化に反対である」

平成20年度決算を認定

実質収支4億円の黒字

決算特別委員会では、9月8日に大綱説明を受け、関係書類の閲覧を経て10日から3日間審査を行いました。

なお、これからの市政運営に反映されるよう委員から次のような意見・要望があった。

委員長報告(要旨)

本市は、きしわだ行財政再生プランを着実に遂行することで、平成20年度の実質収支額を黒字とすることができた。

しかしながら、厳しい経済情勢のもと、市税収入が落ち込むなど、本市の財政を取り巻く状況は依然厳しい。

こうしたなか、新消防本部庁舎の建設や東岸和田駅付近の高架化事業及び周辺地域の整備、公立幼稚園アフタースクールの全園実施や中学校昼食サポート事業の全校実施など、市民福祉

- 決算に対し、健全な財政運営を堅持し、効率的・効果的な執行がなされたかなどに主眼を置き、慎重な審査を行いました。
- 一般会計及び各特別会計については反対討論「きしわだ行財政再生プランを推進する本決算は、市民への負担増や市民サービスの低下を招くものとなっており反対である」があり、起立表決の結果、賛成多数で認定しました。各事業会計については、満場一致で認定しました。
- 16日の本会議では、まず、一般会計及び各特別会計の決算認定を求める議案について、決算特別委員長から審査結果の報告を受けた後、委員会と同様の反対討論がなされました。
- 最後に、各常任委員会・議会運営委員会の特定事件(2面に掲載)については、閉会中も継続調査することと決定し、16日に閉会しました。
- ▽国民健康保険事業特別会計は、市民福祉の向上の観点から、財政の立て直しと円滑な運営を。
- ▽文化振興政策の推進と浪切ホールを運営する岸和田市文化財団の組織の透明性を図ること。
- ▽行政の立場として行政みずからが法令や社会的ルールを守り、後から法律や規則を追いかけることのないようにすること。
- ▽危機管理室には、防災行政の仕組みや国民保護計画などの専門知識を身に付けた自衛隊OBの配置を。
- ▽保育所の民営化と学校給食の民間委託の中止を。
- ▽歳出削減に当たっては、市民負担増と施策の後退は行わないこと。
- ▽市民病院は、速やかに准看護師を採用するなど、病床の効率的な運用を。
- ▽市民病院は、産科診療復活に向けた努力を。
- ▽市民病院は、医師不足の解消や看護師の確保、経費の節減など経営改善に一層の努力を。
- ▽下水道事業は、より一層の経費節減と業務の効率化を図り、常に収支のバランスを意識した運営を。

【決算特別委員】

- ◎鳥居宏次
◎雪本清浩
池内矢一
岡林憲二
稲田悦治
中塚茂春
石田亀太郎
井上孝三郎
今口千代子
小寺峰男
小川和夫
村野精
- ◎委員長
◎副委員長